

出牛学長式辞



本日ここに、学部生ならびに大学院生総計5228名の皆さんを本学にお迎えするにあたり、専修大学を代表して心から歓迎の意を表します。入学おめでとうございます。また、ご参列のご家族の方々に、心からお祝い申し上げます。おめでとうございます。

長いようで短い大学生活を大切に

何事も最初が肝心といいますが、夢と希望に胸膨らませている今、これからの大学生活を有意義に過ごすため、二つのことについて申し述べておきたいと思います。

第一に、個人的に自由になる自由を有効に使ってください。これからの大学生活を有意義に過ごすために、時間を無駄にすることなく過ごしていただきたいということです。「光陰矢の如し」「月日に監守なし」といわれるように、時間はどんどん過ぎ去っていきます。

中国南宋の儒学者で、朱子学の開祖、朱熹の「少年易老学難成、一寸光陰不可軽」という有名な「偶成」の詩があります。この詩は「だれでも若い時にはまだ先があるからといって時間を無駄に使ってしまいがちだが、人間はすぐに年をとって老人になってしまう。ところが学問はなかなか進まないものである。だから若い時に時間を無駄にせず、勉強しなければならない」という警告の詩でもありますが、その日その日を大切に、勉学に励んでください。

大学生活は、長いようで短いものです。一度失った時間を取り戻すことは出来ません。社会に出てから初めて、学生時代にもっと勉強しておけば良かったと公開している人が大勢います。今現在の時間を大切にしてください。

第二に良き友を早く見つけてください。学生時代の友人は、利害関係によって生まれた友人ではありません。生涯を通じ、信じ合える本当の友を得ることは、とても幸せなことです。これから始まる大学生活の中で、勉学やサークル活動を通じて自分のことを理解してくれる、心の支えとなってくれる真の友だちを見いだしてください。良き友がいると大学に来る楽しみも増えます。そして良き友は、大学を卒業してからも自分の人生のあらゆる面で良き助言者となり良き相談相手となってくれるでしょう。

新世紀ビジョン 社会知性の開発

専修大学では、21世紀の初頭に、新世紀の本学のビジョンとして「社会知性の開発」を掲げ、新しい時代にふさわしい新しい人材育成に努めています。皆さんには、大学生活の中でやりたいことが山ほどあるでしょうが、今やらなければならないこと、それは各学部、各研究科で組んでいるカリキュラムの中から、自分の目標を実現するのにふさわしいと思われる科目を選択し、それをしっかり勉強することです。自分の目標がまだはっきり見えなかった人も、自らの選択した科目を真剣に学ぶことにより、本当に自分がやれること、やりたいことがはっきりと見えてくるでしょう。後は、大学生活を通してその目標に向かって邁進することです。

ご存知のように、今の日本の経済は大変な時期を迎えています。景気は低迷しつづけ、いまだ不透明感を拭い去ることは出来ません。皆さんが卒業の時に、日本の経済が回復しているという保証はありません。会社の統廃合、リストラにより企業は生き残りを計っています。この犠牲になるのは、中高年、すなわち皆さんの親の世代、そして新卒者たちです。経済的事情で、卒業式を迎えることなく大学を去る方もいるかもしれません。また、卒業式を無事に迎えることが出来たとしても、希望通りの就職が出来るとは限りません。

この厳しい社会情勢の中、手にすることが出来た貴重な大学生活です。決して漫然とした気持ちで大学生活を過ごさないでください。21世紀の日本、そして世界を、自分た

ちが担っていくのだという気概を持ってほしいと願っています。

悔いのない、一生を通じて自分の思い出となるようなすばらしい大学生活を送られることを期待して、歓迎の言葉といたします。入学おめでとうございます。

〔4月15日/ニュース専修1面〕